

# 社協 なかはら

SHAKYOU NAKAHARA

## もくじ

新年のご挨拶 .....	1面	障害者(児)リフレッシュ事業報告 ..	3面
表彰の報告 .....	1面	インフォメーション .....	4面
西日本豪雨災害職員派遣報告 .....	2面	ありがとう温かい心 .....	4面
第22回なかはら福祉健康まつり報告 ..	3面	福祉用具リサイクル .....	4面

発行所 社会福祉法人  
川崎市中原区社会福祉協議会  
川崎市中原区今井上町1-34  
和田ビル1階福祉パルなかはら  
Tel 722-5500 Fax 711-1260

発行人 青木 英光  
編者 社協なかはら編集委員会

## 新年のご挨拶



川崎市中原区社会福祉協議会会長 青木 英光

謹んで新年のお喜びを申し上げます。  
皆様には健やかに  
新春をお迎えのことと存じます。



昨年、西日本豪雨をはじめ相次ぐ台風の上陸及び大阪北部地震、北海道地震により、未曾有の大災害が発生し、自然災害の恐ろしさを改めて見せつけられました。犠牲になられた方とご遺族及び被害に遭われた方には、謹んでお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、川崎市が提唱の「地域包括ケアシステム」は、二〇二五年まで、具体的に行動する第二段階に入りました。中原区社協としては、行政と社協(区社協・地区社協)との協働事業として、具体的な取り組みを、大戸地区を皮切りに、順次全地区に進めています。

内容は、「人生二〇〇年代」のライフスタイルを、自らの趣味、地域の特長、健康講座等を活かして模索し、新たな居場所づくりを目指しています。この「地ケア」と融合し、第三期地域福祉活動計画の施行に当たり、中原区の地域特性を的確に捉え、住民の皆様が期待に答えられるよう高齢者・障がい者福祉や子育て支援等の「地域福祉活動」を中心に積極的に推進しました。特筆できる取り組み

は、次の二点です。一つは、「なかはら福祉健康まつり」です。これは、中原区の協働推進事業で、地域との連携をより一層強化し、地域の皆さんに福祉と健康について、正しく理解して頂くことを目標にしています。当日は、素晴らしい天候に恵まれ、入出が多く盛り上がり、大変盛会でありました。二つは、「障害者(児)リフレッシュ事業」です。この事業は、障害者(児)とその家族の生きがいや自立を支援するために必要なリフレッシュを図って頂くことを目標としています。本年度も、地区社協のボランティア協力により、川崎フロンタールのホームゲームを観戦して頂きました。皆さんは、大観衆とフロンタールの連覇に向けた活躍が観戦出来て、その喜びと感動でいっぱいでした。

今後も、区民一人ひとりが、住み慣れた地域で、助けあい、支えあいにより、安心して暮らし続けられる地域社会づくりに務めて参ります。何卒、皆様の格別なご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。

## 平成30年度 各種表彰・感謝の報告 (敬称略・順不同)

### 平成30年度中原区社会福祉協議会会長 表彰状・感謝状贈呈式開催

平成30年11月18日に開催された「第22回なかはら福祉健康まつり」において、平成30年度の中原区社協会長表彰状・感謝状の贈呈式を行ないました。今年度の受賞者・団体はつぎの方々です。

- 神奈川県立新城高等学校
- ボーイスカウト川崎第22団
- 東急リゾートサービス・石勝エクステリア共同事業体
- 川崎国際生田緑地ゴルフ場
- セレサ川崎農業協同組合
- 大塚 敬二
- 移送ボランティアのみなさん



表彰式の様子

### 第56回川崎市社会福祉大会

平成30年10月30日開催

- ❖ 川崎市長表彰
  - 社会福祉団体役員  
白井 信夫 (丸子地区社協) 尾木 孫三郎 (丸子地区社協)
- ❖ 川崎市社協会長表彰・感謝
  - 地域福祉活動への貢献者  
渡邊 裕 (住吉地区社協) 鈴木 邦子 (玉川地区社協)  
石井 敬子 (丸子地区社協) 山本 禮子 (小杉地区社協)  
吉川 カヨ子 (大戸地区社協)
  - 継続寄付  
大塚 敬二 ボーイスカウト川崎第22団
  - 多額寄付  
セレサ川崎農業協同組合

# 西日本豪雨災害

～職員派遣報告～

中原区社会福祉協議会 地域課 小林正樹

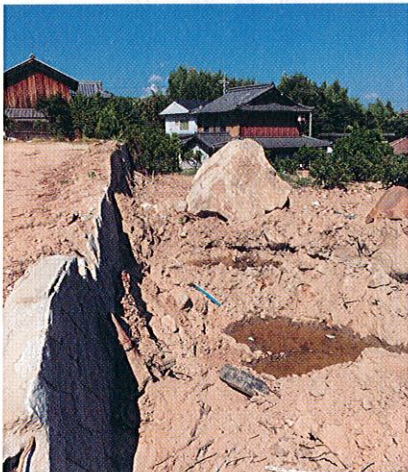
平成30年は多くの自然災害が発生し、日本各地に甚大な被害が生じました。お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されたみなさまに深くお見舞申し上げます。被災地の1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

8月20日(月)から25日(土)までの6日間、西日本豪雨で被災した広島県三原市の災害ボランティアセンター(福地・三原サテライト)運営支援のため派遣されました。

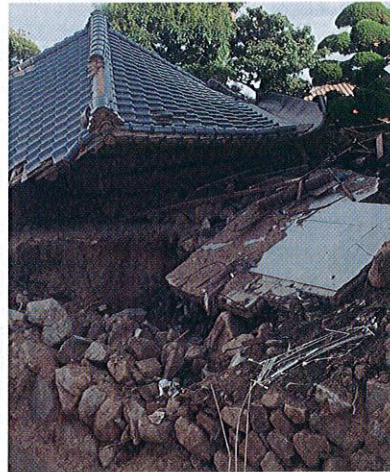
現地はかつて無い豪雨によって山崩れが発生し、土石流が三原市木原地区と尾道市福地地区の住宅地を扇状に覆い、広範な土砂災害をもたらしました。派遣時は災害の発生から1ヶ月以上経過していましたが、土砂や瓦礫が散乱している状態で被災の傷跡が色濃く残っていました。相次いで台風が発生していたこともあり、再び土砂災害が発生する不安を抱えながら暮らしている方もおり、被災された

方が心から安心して暮らしていくためには息の長い支援が必要であると感じました。

現在、三原市災害ボランティアセンターにおいては事前登録制で金曜日・土曜日のみ災害ボランティア活動が継続して行われています。また、豪雨災害による被災者への総合的な支援を行う「三原市地域支え合いセンター」が開設され、生活支援相談員による被災者の見守り・巡回相談などを通じて、生活再建に向けた総合的な支援が実施されています。



土砂とともに流れてきた大きな瓦礫



土砂でつぶされてしまった家も多く見られました



土砂が流れたと思われる道沿いの家は1階部分が全壊状態でした

災害の発生から時間が経つにつれて被災地の状況を取り上げる報道が減り、ボランティアの人数も減少傾向となります。ボランティア募集が継続されている被災地支援にご協力をお願いします。被災地に行くことが出来ない場合でも、被災地の生産物を購入すること、被災地への募金活動に協力すること等、様々な方法で被災地支援が可能です。

また、これまでの大規模災害発生時においては、普段からの地域のつながりや助け合い、ささえあいが救助・救命、避難誘導、防犯につながったことが多々報告されています。中原区のみなさまも、地域の防災訓練に参加するなど、いつ発生するか分からない災害に日々備えていただければと思います。

## Q&A

### 災害ボランティアセンターとは?

大規模災害等により主に被災した市区町村の社会福祉協議会が臨時開設・運営します。

災害ボランティアを募り、支援が必要な方や地域へ派遣する役割を担う機関です。

## 被災地にボランティアに行く方へ

- 現地災害ボランティアセンターのホームページ等を確認し、ボランティア受入状況を確認してください。
- 被災地に行く前に最寄りの市・区社会福祉協議会でボランティア活動保険に加入してください。

**【加入方法】** 社協窓口で申込書を受取 ▶ 郵便局で保険料支払い ▶ 社協窓口で手続き

▶被災地でのボランティアについて詳しくは

被災地 ボランティア

検索

であい♥ふれあい♥ささえあい

# 第22回 なかはら福祉健康まつり

当日レポート 平成30年11月18日(日)開催



当日は恵まれた天気の中、多くの参加者を迎え開催されました。

今年も1階の正面広場エリアでは、うどんやおでん、赤飯等が販売されており、これを楽しみに来場された方も多く、家族や知人等で楽しそうに味わっている風景が見受けられました。

5階へは、エレベーターで移動するため混雑していましたが、車椅子の方等に配慮している光景も見受けられ、このイベントのテーマの一つである「ささえあい」が浸透しているなど感心しました。

5階メイン会場で行われている発表を、椅子に座ってゆったりと楽しめる方や、各コーナーを回り、説明を聞いたり実演等される方で賑わっていました。

時間はあっという間に過ぎ、満員の客席からの手拍子で会場が一体となった川崎市立宮内中学校吹奏楽部の素晴らしい演奏を楽しんで、午後2時に閉会となりました。

来場者の方々は、入場時に配布された白いエコバックに配布された資料等とともに楽しい思い出を詰めて会場を後にされていました。

レポーター編集委員 清澤敏治

中原区  
社会福祉協議会主催

## 障害者(児)リフレッシュ事業のご報告

平成30年11月3日(土)開催

この事業は、共同募金を財源として、障害者(児)とその家族の生きがいや自立支援を図ることに必要なリフレッシュを目的に、毎年1回開催しています。

今年度は、等々力陸上競技場にて「川崎フロンターレホームゲームを観戦しよう!」ということで、J1リーグ第31節柏レイソル戦を観戦しました。当日は190名の方々が参加されました。

試合は前半、守田選手の折り返しを家長選手がダイレクトで合わせて先制!さらにコーナーキックから谷口選手がヘディングでゴール。前半を2-0で折り返します。後半、柏の反撃をしのぎながらも、終盤に阿部選手が追加点をあげ、3-0で快勝しました!チケット完売の試合ということもあり、会場は大いに盛り上がりました。

本事業はゲームの観戦だけではなく、応援グッズとしてフロンターレのタオルマフラーやお弁当、飲み物をセットにして準備しましたので、試合前に観客席で昼食を召し上がり、試合中はタオルを振りながらの応援でした。

来年度も参加者の方々にリフレッシュしていただけるような事業を企画してまいりますので、ぜひご期待ください。



ゴールが決まって大喜び!

# インフォメーション



参加費無料!  
申込み不要!

## 中原区社協マスコットキャラクター なまえ大募集!!

中原区社協の公式マスコットがデビューします!  
そこで、皆様からなまえを大募集します。

かわいい  
なまえを  
つけてね!



採用された方には  
**クオカード**  
5,000円分  
プレゼント!

締切り 平成31年1月31日(木)  
詳しくはホームページをご覧ください

中原区社協 マスコット 検索

## 子育てグループ知りたいな

～グループの紹介をします～開催のお知らせ

子育て中の親子を対象に、区内で活動している子育てグループの紹介を行います。当日は子育てグループに所属している方から個別に活動内容や雰囲気を知ることが出来ます。入退場自由ですので、子育てグループに興味のある方は是非お立ち寄りください!

日時 平成31年2月25日(月)

午前10時～11時30分

会場 中原区役所5階会議室

内容 子育てグループ紹介と懇談

親子体操「ミミケロ体操」の紹介 他

対象 生後6か月～就園前のお子様とその保護者



お問合せ

中原区社会福祉協議会地域課

TEL: 722-5500 FAX: 711-1260

## 中原老人福祉センターからのお知らせ

中原老人福祉センターは、皆様の健康増進や教養の向上、レクリエーションの他、友人との交流の場として利用できる施設です。趣味や健康づくりの教室募集を2月末から3月上旬頃に予定しており、教室をきっかけに利用する方も沢山いらっしゃいます。さらに、センター利用者を対象にした催しも幅広く開催しています。2月に「節分祭」、3月に「かるた大会」といった行事を予定しています。その他、食生活に楽しみを見出してもらう「実験!体験!味のおためし倶楽部」、各人が培ってきた知識や貴重な人生経験を披露してもらうことで別世界を知る機会になる「Coco de 茶論」、手話ソングやゲーム・クイズで笑って

楽しく過ごす「脳トレック」、市内や近郊の名所を徒歩で巡る「まち歩きの会」、アロマの香を楽しみ効能を学ぶ「アロマセラピーの会」などがあります。是非一度センターへ遊びにおいでください!お待ちしております。



かるた大会



まち歩きの会

お問合せ 中原老人福祉センター(中原いきいきセンター) 住所: 中原区井田3-16-2 TEL 777-6000/FAX 777-2833

## 福祉用具リサイクル

中原区社協では、福祉用具をゆずりたい方と必要な方の橋渡しをしています。

ゆずります

- ◇ポータブルトイレ
- ◇シルバーカー
- ◇車いす

ゆずってください

- ◇介護用ベッド
- ◇松葉杖
- ◇置き型ベッド用すり

随時募集中!お気軽にどうぞ。

《お問合せ》 中原区社会福祉協議会

TEL 722-5500 FAX 711-1260

※先着順のためご希望に添えない場合があります。  
※問合せ後の連絡・引き取りは当事者同士で行っていただきます。



ありがとう  
温かい心



平成30年9月3日～平成30年12月2日までの「ボランティア銀行なかはら」への善意の寄付金品は次のとおりです。これらは地域の福祉関係団体や施設などへお贈りしています。

【寄付金】 大塚敬二

(敬称略)